2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	バイオ・再生医療学科		科　目　区　分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科　目　名	生命倫理		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	402教室
担 当 教 員	松久　明生	実務経験とその関連資格	製薬企業・医科大学等で分子生物学的な方法で40年間、研究を実施。2017年4月から2019年3月まで上智大学グルーフケア研究所にて、臨床聴傾士研修生として生命倫理の基礎について学び、関連施設で実習経験がある。			

《授業科目における学習内容》

講義は生命倫理とは何かを概説し、関わる分野を調べる。その中で、何が実際問題となり、なぜ解決されていないかを考える。特に、医学の分野では、先端医療がもたらす植物人間と尊厳死、ターミナルケア、脳死と臓器移植、生殖医療と優性思想、デザインベービー等があげられる。研究分野では幹細胞研究と再生医療等に於ける生命倫理のあり方を共有したい。

《成績評価の方法と基準》

1. レポートを含む定期試験:　70%　2. 授業態度:　10%　3. 出席点:　20%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

適宜、プリントを配布し、それに沿って授業を行う。
参考書:はじめて学ぶ生命倫理(ちくまプリマー新書)、優生学と人間社会(講談社現代新書)、生命倫理と医療倫理(金芳堂)、生殖医療の衝撃(講談社現代新書)、ゲノム編集を問う(岩波新書)

《授業外における学習方法》

プリント配布による授業を主体とする。従って、予習をし、授業後の復習を欠かさない事が肝要である。また、自主学習の中で理解出来ない事があれば、必ず質問するように心がけて欲しい。積極的な学習態度が本当に役に立つ知識を習得するために重要となる。また、新聞等のメディアにおいて医学・生物学に関する記事に関心を持つ事、必要であれば切り抜きをし、ノートに貼っておくのも良い。

《履修に当たっての留意点》

将来バイオテクノロジー関連産業に携わる人間として、生命倫理がなぜ必要であり、考えなければならないかを学ぶ。単に知識としてではなく、実際に自分が関連の職業に就き、生命倫理の問題に直面した時、どのように対処し行動していくかは大変重要な事である。そのために、本授業では生命倫理的な思考法が身につけるようにしたい。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	自己倫理とは何かを説明できる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	生命倫理とは何か、身近な問題と生老病死から考える(1)		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分と家族との倫理関係について考えを述べることができる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	生命倫理とは何か、身近な問題と生老病死から考える(2)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	自分と他人との倫理関係について考えを述べることができる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	生命倫理とは何か、身近な問題と生老病死から考える(3)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	生死について自分の身近な問題として捉え、考えを述べることができる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	生まれる事、死ぬ事の中での医療の問題を考える(1)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	生死について自分の身近な問題として捉え、考えを述べることができる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	生まれる事、死ぬ事の中での医療の問題を考える(2)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生死について自分の身近な問題として捉え、考えを述べることができる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	生まれる事、死ぬ事の中での医療の問題を考える(3)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖医療について実際の日本での現状を把握し、説明できる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	医療としての生殖医療とは何か、現状では何がなされているか(1)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖医療について何が問題なのかを把握し、説明できる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	医療としての生殖医療とは何か、現状では何がなされているか(2)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	優生思想について理解し、過去の歴史的な事例について説明できる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	優生思想の歴史と現在起こっている問題(1)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	優生思想について自分の問題として捉え、意見を述べることができる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	優生思想の歴史と現在起こっている問題(2)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳死と臓器移植について、将来自分に関わる身近な問題として理解し、意見を述べることができる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	脳死と臓器移植を医療の位置づけの中で捉える。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	尊厳死・リビングウイルについて、将来自分に関わる身近な問題として理解し、意見を述べることができる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	尊厳死・リビングウイルを医療の位置づけで捉える。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	現状の先端医療の倫理的側面を把握し、説明できる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	幹細胞と再生医療研究・臨床治験・創薬における倫理		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	現状の先端医療の倫理的側面を把握し、説明できる。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	遺伝子組み換え・遺伝子編集・動物と動物実験代替法における倫理		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	「いのち」の捉え方を再考する力を養い、身につける。	配布プリント・参考資料	配布プリントを熟読し内容を確実に理解する。疑問点は質問事項として次の授業に質問するように心がける。
		各コマにおける授業予定	生命と「いのち」という考え方の総括と講義内容の理解度を測る。		